

目標達成計画

作成日: 平成 25 年 1 月 17 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	防災訓練では、職員が利用者様を誘導する訓練を実施していたが、地域住民の方の参加がなく、いざというときの連携を図ることが困難である。	地域住民の方にも訓練の様子をご覧いただいたり参加していただき、いざというときの連携を図れるようにする。	運営推進会議の際に、避難訓練を実施し、地域代表やご家族様にご覧いただくことを始めに実施する。	6ヶ月
2	10	月1回のお便りで利用者様のご様子をお伝えしたり、面会時にご様子をお伝えしているが、ご家族様に行事に参加していただく機会は、年1回の家族交流会にとどまっている。	行事のお知らせをして、ご家族様にも気楽に参加していただく。	行事のお知らせと参加のちらしを用意し、気軽に参加していただけるよう周知を図る。	12ヶ月
3	57	利用者様と職員と一緒にゆったりと過ごす機会が少なく限られている。	1日のうち時間を見つけて、お茶を一緒に飲みながらおしゃべりしたり、ゆっくり寛げるような時間を設ける。	職員がおやつの時間等で一緒におしゃべりしながら過ごせるよう業務の仕方を見直す。	3ヶ月
4	18	介護を主体に捉えるあまり、業務を追いがちなことがある。暮らしを共にするという視点が欠けることがある。	利用者様にとっては、施設が生活の場であることを認識し、楽しく過ごしていただける介護をめざす。	利用者様にとっては、施設が生活の場であることを認識し、一方的な職員の考えで介護することがないように、業務の進め方を全体ミーティング等で修正する。	12ヶ月
5					ヶ月
6					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。